


型番	SI-107		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名	TEL. 

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理、もしくは修理をお断りする場合があります。
 - イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - ハ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
 - ニ) 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

- ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷
- ヘ) 腐食による故障及び損傷
- ト) プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
- チ) 本書のご提示がない場合
- リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- ヌ) 中古品、又は個人売買(オークションサイト、フリマアプリ等)で購入された商品の場合
- ⑤ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
- ⑥ 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑦ 出張修理は行っておりません。

年月日	サービス内容	点検印
・		
・		
・		

株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター

TEL: 048-931-3110

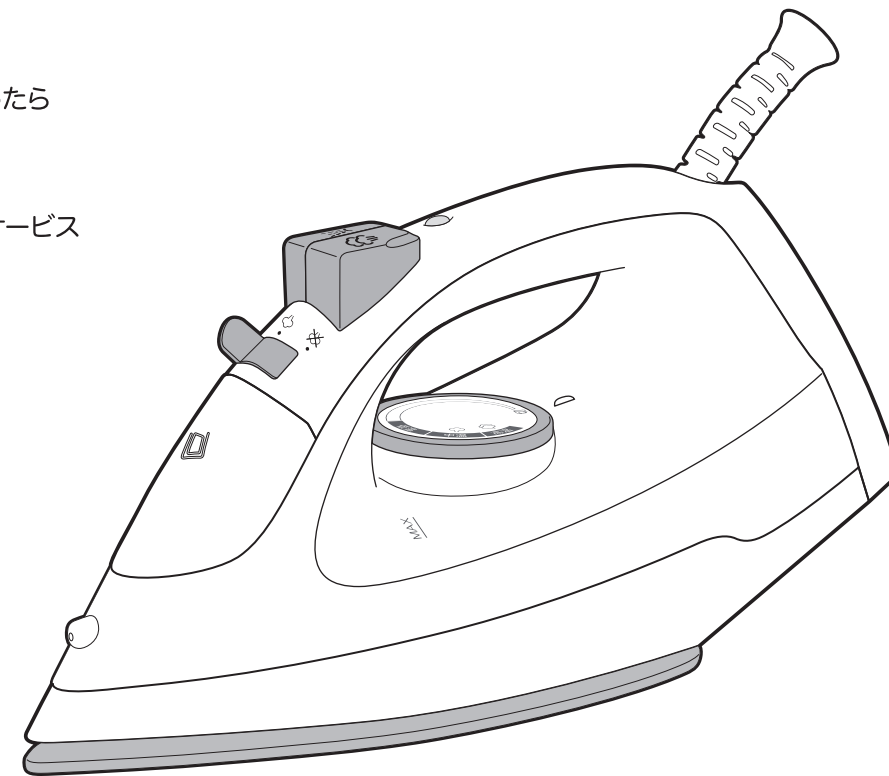
〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
 受付時間: 月～金の9時～12時/13時～17時
 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

スチームアイロン SI-107 取扱説明書

このたびはスチームアイロンをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

- 01~04 安全上のご注意
- 05 各部の名称
- 06~08 ご使用方法
- 09 故障かな?と思ったら
- 10 仕様
- 10 保証とアフターサービス

裏表紙 保証書



⚠ 注意

やけどに注意
 アイロンのかけ面、スチームに触れない。高温によるやけどの原因になります。

スチームを人に向けて噴出ししない。
 スチームに触れると、やけどの原因になります。



タンク内部に若干の水 droplets が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているため、異常ではありません。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。


警告


この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。
※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。

 〇は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。

 ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- ・電源コードが傷んでいる。(ひび割れ、中の線が見えるなど)
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - ・コゲくさい臭いがする。
 - ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。
- などの症状が出たら、すぐに販売店またはお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

お客様ご相談センター
048-931-3110



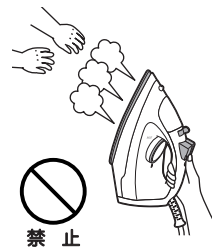
安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人や子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。製品で子供が遊ばないようにする。

けが・やけど・感電の原因になります。



ショットスチームを人に向けて噴出しない。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。
異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の原因になります。



濡れた手で温度調節ダイヤルの操作をしない。
感電の原因になります。



警告 電源・コード

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因になります。



差込プラグのほこりなどは定期的に拭きとる。
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。
感電・ショート・故障の原因になります。



使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源コードに足などを引っかけない。
けがや故障の原因になります。



差込プラグにピンやごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因になります。



差込プラグをなめさせない。乳児が誤ってなめないように注意する。
感電・けがの原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。



濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

△ 注意 使用場所

風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所でアイロンかけはしない。
火災・感電の原因になります。



水漏れ禁止

火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多いところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。



禁止

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では使用しない。
火災の原因になります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない。
熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



禁止

不安定な場所の上では使用しない。
必ず平らで安定した場所で使用し、安定した所に立てて置く。
毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



禁止

△ 注意 やけど・けがを防ぐために

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをする。
スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因になります。



必ず行う

熱いスチームに触れない。
やけどの原因になります。アイロン台によっては、スチームが透過する場合があります。



接触禁止

アイロンかけ及びスチームかけ以外の目的で使用しない。
過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



禁止

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。
やけどの原因になります。



禁止

注水や排水の時は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。
感電の原因になります。



必ず行う

使用中・使用直後は高温部(かけ面)に触れない。
やけどの原因になります。



接触禁止

着用したままの衣類にアイロンかけ及び、スチームをかけない。
やけどの原因になります。



禁止

パイロットランプ点灯中はショットボタンを押さない。
スチーム噴出孔から湯滴が出てやけどの原因になります。



禁止

△ 注意 発火・火災を防ぐために

通電したまま放置しない。
その場を離れる場合は、必ず差込プラグを抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。



禁止

熱い状態のアイロンに電源コードを巻き付けない。
ショート・発火することがあります。



禁止

アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するものを使用しない。
火災の原因になります。



禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない。
ショート・発火することがあります。



禁止

△ 注意 取り扱い

水は水道水を使用する。
ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、香料を含んだ水を使うと、水アカがたまった腐食や故障の原因になります。



必ず行う

衣類などに付いているアイロンマーク(絵表示)を必ず守る。
衣類などのこげ・変質などの原因になります。(絵表示の説明はP.5をご覧ください。)



必ず行う

アイロンを運ぶときは、十分に冷えていることを確認する。
けがや、やけどの原因になります。



必ず行う

ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。
水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



必ず行う

業務使用は行わない。一般家庭用のアイロンです。
ご使用方法を理解せずに不特定多数の方や業務でご使用されることはアイロンの早期故障や重大事故につながります。



禁止

落としたりぶつけたりしない。
感電・発火の原因になります。



禁止

スチーム使用のときは、スプレーのりを使用しない。
かけ面にのりが付着し、アイロンかけがスムーズにできなくなることがあります。



禁止

熱や湿り気に弱い壁紙の近くではスチームを使用しない。
スチームによりダメージを受ける可能性があります。



禁止

アイロンかけしている衣類などが異常に発煙したり発火した場合は、アイロンを衣類から離し、すぐに温度調節ダイヤルを『切』にし、差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



必ず行う

水タンクへの注水は「max」目盛りまで。
目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。



必ず行う

お手入れのときは、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。
感電事故の原因になります。



プラグを抜く

落下などにより本体が破損や水漏れした場合は、使用しない。
発火や感電事故の原因になります。



禁止

ボタン・ファスナーなどの固いものにアイロンかけはしない。
かけ面の傷付き・コーティングの剥れの原因になります。



禁止

市販のかけ面カバーや、スチーム噴出孔を布で覆って使用しない。
故障の原因になります。



禁止

水をこぼさない。誤動作の原因になります。
水がこぼれたときは、布で拭き取ってから使用してください。



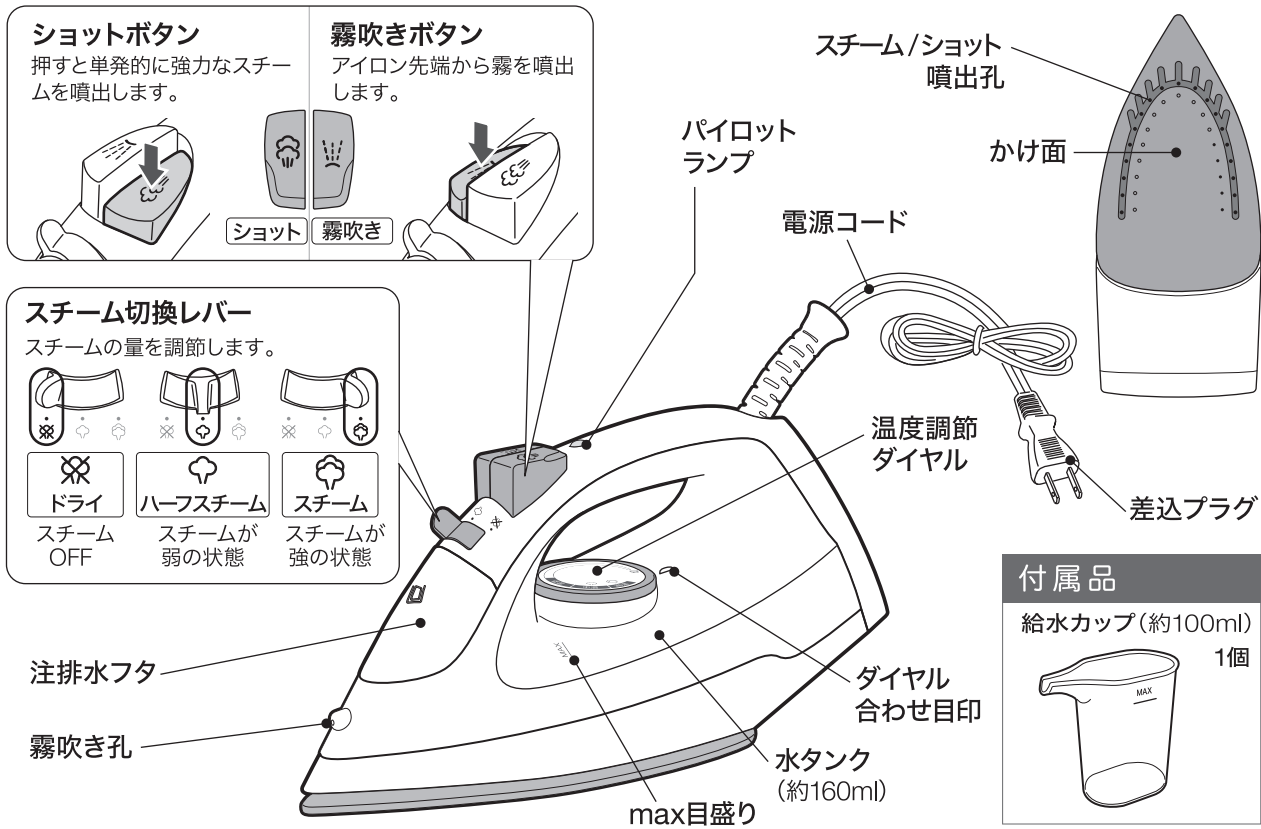
水漏れ禁止

皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しない。
スチームにより縮む恐れがあります。



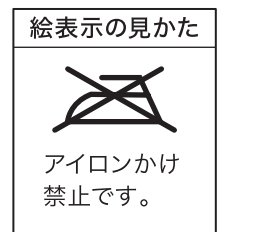
禁止

各部の名称



温度設定の仕方

温度設定位置		低	中	高
かけ面の温度		約80℃～130℃	約130℃～160℃	約160℃～200℃
絵表示	新表示			
	旧表示			
衣類・布地の種類		アクリル シルク ポリウレタン ポリプロピレン	毛・ナイロン ポリエステル ビニロン/キュプラ レーヨン/アセテート	綿/麻 ポリノジック



⚠️注意

おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度調節ダイヤルで温度設定を合わせてください。

絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度調節ダイヤルで合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

布地に合った温度設定でアイロンかけをしても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためる事がありますので注意してください。

ご使用方法 (その1)

アイロンの使い方

1 水タンクに給水する(スチーム・ショットスチーム・霧吹きを使用する場合)

1 注排水フタを開き、付属の給水カップで水をゆっくり入れます。

※スチーム切換レバーは必ずドライ『』にしてください。

※差込プラグをコンセントに差し込む前に水を注水してください。

2 水の量はmax目盛りを超えないようにしてください。

※目盛り以上に水を入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。※max目盛りは立てた状態で確認してください。

3 給水が終わったら、注排水フタを確実に閉めます。

⚠️注意

- スチーム切換レバーは必ずドライ『』にしてください。ドライ『』位置以外で注水すると、かけ面のスチーム噴出孔から水滴が漏れることがあります。
- 水は、水道水を使用してください。次の水は入れないでください。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、香料を含んだ水など。
- 水タンクに水を入れる際は、必ず付属の給水カップをご使用ください。直接、水道から水を入れると水があふれて、製品内に入り、感電・故障・ショートの原因になります。

2 温度設定をする

1 アイロンを立て置き、温度調節ダイヤルを『切』にして、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。

2 温度調節ダイヤルを回すとパイロットランプが点灯します。スチームを使用する場合は、温度調節ダイヤルを **中温** または、**高温** にしてください。(P5の温度設定の仕方参照)

水漏れ防止

スチーム切換レバーがドライ『』にしてあることを必ず行う 確認してください。

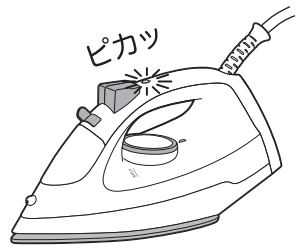


⚠️注意

スチーム位置以外の温度でスチームを使用すると、かけ面のスチーム噴出孔から湯滴が漏れることがあります。

3 アイロンかけをする

1 適温になるとパイロットランプが消えて使用できます。加熱通電中はパイロットランプが点灯します。



2 スチーム・ドライの切り換えはスチーム切換レバーと温度調節ダイヤルの2つで行います。以下の表を見て、設定してください。

スチーム 切換レバー	温度調節 ダイヤル	低温	中温	高温
ドライ	☒	○	○	○
ハーフスチーム	☒	×	○	○
スチーム	☒	×	×	○

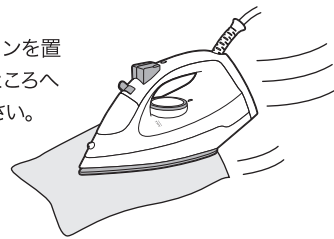
※×の項目で使用すると湯漏れの原因となります。
※スチームが出にくいときは、アイロンを水平にし、スチーム切換レバーを2~3回左右に動かしてください。

△注意

- スチームは高温ですので、やけどには十分注意してください。
- スチームを使用する際は、ご使用前にショットスチームを2回以上噴出させ、スチームの流れをよくしてから開始してください。布地の目立たないところで試しがけをしてからお使いください。
- アイロン使用中に、立てて置くときはショットボタンを押さないでください。スチームが噴出し、やけどの恐れがあります。

3 アイロンかけをします。

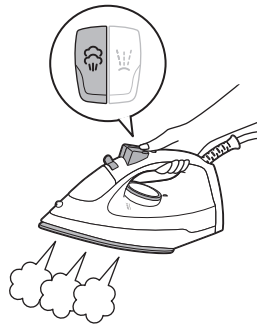
必ず行う
! ご使用中にアイロンを置くときは、平らなところへ立てて置いてください。



ショットスチームを使用する

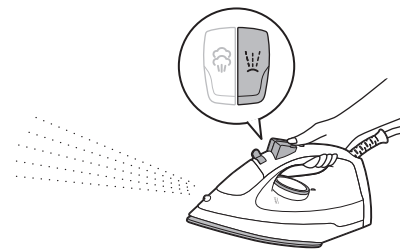
ショットボタンを押すと、単発的に強力なスチームを噴出します。

ショットスチームを使用する場合は、温度調節ダイヤルを『高』にしてください。



霧吹きを使用する

霧吹きボタンを押すと、霧が出ます。

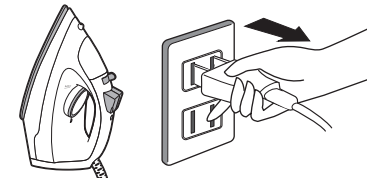


△注意

- スチーム・ショットスチームを使用する場合は、温度調節ダイヤルをスチーム位置にして使用してください。
- ショットボタンは2、3秒に1回の間隔で押してください。
- ショットスチーム使用中に、パイロットランプが点灯したら消灯するまでショットボタンを押さないでください。スチーム噴出孔から湯滴が出てやけどの原因になります。

4 使用後

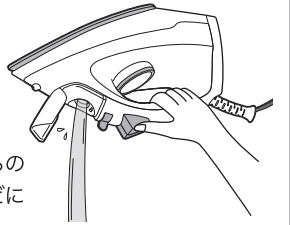
1 アイロンを立てて置き、温度調節ダイヤルを『切』に、スチーム切換レバーをドライ『☒』にして、差込プラグをコンセントから抜きます。



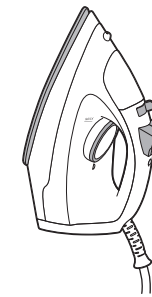
2 注排水フタを開け、水を捨てます。

必ず行う
! 腐食防止のため、必ず行ってください。

注意
! かけ面が熱くなっているのに、水を捨てる際はやけどに注意してください。



3 かけ面が冷えるまで平らで安定した場所に、必ず立てて置いてください。



本体のお手入れ

- 金属製のたわしやナイロンたわし、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、アルカリ性洗剤、磨き粉などは使用しない。傷や表面加工が剥がれる原因になります。
- 本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取り、最後から拭きをしてください。
- スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。目安は3、4ヶ月に1回です。
- 霧吹き噴出孔のつまりは霧吹きボタンを数回押し続けて様子を見てください。



保管

※保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

- 温度調節ダイヤルは必ず『切』にしてください。
- スチーム切換レバーは必ずドライ『☒』にしてください。
- 保管の際は、商品の入っていた箱に収めてください。
- 箱がない場合はポリ袋等に収めて保管してください。
- 湿気の少ないところに保管してください。
- 保管時は上に物を乗せたりしないでください。
- コードは束ねて保管してください。

必ず行う
!

故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	原因・処置										
	熱くならない	かけ面が スチームが 出ない	少ない スチーム 量が出ない	シヨット が出ない	少ない シヨット 量が出ない	スチーム 噴出孔 から水が 漏れる	スチーム 噴出孔の つまり、 かけ面の 腐食	霧吹き 量が少ない	かけ面が 滑らない	布地が こげたり、 縮む	スチーム 噴出時に 白い粉が 出たり、 ニオイが する。
差込プラグ	●	●		●		●					差込プラグはコンセントに根本まで差し込まれていませんか? 処置 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
温度調節 ダイヤル	●					●			●		ダイヤル目盛りは布地に合った適切な位置になっていませんか? 処置 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。
		●	●	●	●	●					温度調節ダイヤルが「高」位置になっていませんか? 処置 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。
パイロット ランプ			●	●	●						パイロットランプが点灯していませんか? 処置 パイロットランプが消えて適温になってから使用してください。
スチーム 切換レバー		●	●								スチーム切換レバーは適切な位置になっていませんか? 処置 スチーム切換レバーを『☁️』～『☁️』に必ず合わせてください。
						●					注水時、スチーム切換レバーが『☁️』～『☁️』になっていませんか? 処置 スチーム切換レバーを必ずドライ『☁️』に合わせしてから注水してください。
シヨット ボタン				●	●	●					温度調節ダイヤルが「高温」位置になっていませんか? 処置 ①ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。 ②パイロットランプ消灯後、シヨットボタンを数回押してください。
スチーム 噴出孔		●	●	●	●	●					スチーム/シヨット噴出孔のお手入れをされていますか? 処置 P.8の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
霧吹き 噴出孔							●				霧吹き噴出孔のお手入れをされていますか? 処置 P.8の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
使用後の 排水						●				●	前回ご使用の水が水タンクに残っていませんか? 処置 使用後は必ず水を捨ててください。
かけ面								●			かけ面に何か付着していませんか? 処置 P.8の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
										●	水に含まれる鉱物質などが出るもので、異常ではありません。白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
繊維製品の 絵表示									●		布地に合った温度設定になっていませんか? 処置 P.5の「温度設定の仕方」を参照して適温に合わせ直すか、あて布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、ご購入の販売店までお問い合わせください。

詳しくは、P.10「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕様

定 格	100V-1000W 50/60Hz	蒸気発生方法	滴下式
寸 法	長さ241×幅104×高さ118mm	電 源 コ ー ド	約1.8m
質 量	約0.6kg(約0.7kg電源コードを含む)	温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240°C
かけ面の面積	約134cm ²	温 度 設 定 範 囲	約80°C～200°C
水タンク容量	約160ml	付 属 品	給水カップ(約100ml)

保証とアフターサービス

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

ご購入の販売店、またはお客様ご相談センターにお申し付けください。

■修理を依頼される時

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いて
ご購入の販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●保証書(裏表紙)

必ず「ご購入日、販売店」の記入をご確認の上、
ご購入販売店から受け取り、内容をよくお読み
の上、大切に保管してください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、ご購入販売店またはお客
様ご相談センターに修理を依頼してください。製品に
保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料
で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低
保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●保証期間:ご購入日から1年間

詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL: 048-931-3110	受付時間:月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

長年ご愛用のスチームアイロンの点検を!

このような症状はありませんか?



- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用を
中止してください。事故防止
のため、必ず販売店に点検
修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所

本社

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15

東日本営業所

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15
TEL.03-5687-7031

西日本営業所

〒550-0013
大阪市西区新町1-25-7
TEL.06-6541-3893

公式ホームページ



www.sure-ishizaki.co.jp